

解答プリント「中学社会・地理的分野」

■確認プリント

8 世界から見た日本②／九州地方

【評価の観点】㊦：思考・判断・表現 ㊧：技能 ㊨：知識・理解

解答例	解説
<p>1 ㊨ (1) 加工貿易</p> <p>㊨ (2) 貿易摩擦^{まきつ}</p> <p>㊨ (3) ① 中国</p> <p>㊨ ② アメリカ合衆国</p> <p>㊧ (4) エ</p>	<p>1 (1) 1960年代ころまでの日本は、綿花などのせんい原料を輸入し、それを綿織物などに加工する加工貿易が貿易の中心であった。その後も、鉄鉱石・石炭を輸入しそれを加工した鉄鋼が輸出の大きな割合をしめていた。</p> <p>(2) 1960年代から日本とアメリカとの間で深刻となった貿易摩擦は、せんい、鉄鋼、カラーテレビ、自動車、半導体と続いた。</p> <p>(3) ① アジアのうち、中国の輸出の割合は全体の18.1%、輸入の割合は21.7%である。</p> <p>② 北アメリカのうち、アメリカ合衆国の輸出の割合は全体の18.5%、輸入の割合は8.4%である。</p> <p>(4) ア 2013年の日本の輸出品でせんい品のしめる割合は1%以下となっている。</p> <p>イ 1960年に日本が輸入していた原油・石炭・鉄鉱石などの鉱産資源は、2013年でも主要輸入品となっている。</p> <p>ウ 1960年の日本の輸出相手地域は、アジア、北アメリカ、ヨーロッパの順である。</p> <p>エ 日本の輸入相手地域でアジアのしめる割合は、1960年は30.5%であったが、2013年は約2倍の63.6%となっている。</p>
<p>2 ㊧ (1) ウ</p> <p>㊧ (2) シラス</p> <p>㊧ (3) A</p> <p>㊧ (4) 水俣病^{みなまたびょう}</p> <p>㊧ (5) 九州新幹線</p> <p>㊧ (6) イ</p>	<p>2 (1) 阿蘇山のカルデラは東西約18km、南北約25kmあり、カルデラ内では約5万の人々が生活している。</p> <p>(2) シラスは水もちが悪いため稲作には適さず、また水をふくむと崩れやすいため土砂災害がしばしば発生する。</p> <p>(3) 1901年、地元にある筑豊の石炭、中国から輸入した鉄鉱石を原料とする八幡製鉄所が操業を開始した。Bは造船業が発達した長崎、Cは大分、Dは化学工業が発達した延岡である。</p> <p>(4) チッソ水俣工場が排出した有機水銀が原因となり、八代海沿岸に水俣病が発生し、現在でも多くの患者が苦しんでいる。</p> <p>(5) 九州新幹線のうち、鹿児島ルートは、2004年に新八代ー鹿児島中央間が開通し、2011年に博多ー新八代間が開通した。</p> <p>(6) 沖縄島の約20%をアメリカ軍の軍用地がしめている。</p>